



SESERAGI—MISHIMA
ROTARY CLUB
WEEKLY REPORT

クラブ
週報

2016～2017年度 RI会長 ジョンF. ジャーム
RIテーマ 人類に奉仕するロータリー

クラブテーマ「出会いに感謝&ありがとう」会長 中山和雄

副会長 山口辰哉 幹事 米山晴敏

第1324回 例会
2017.6. 2(金) 晴

司会:田中錦城君 指揮:山口辰哉君
ロータリーソング「奉仕の理想」

事務所 三島市中央町4-9 小野住環中央町ビル2F
TEL.055-976-6351 FAX.055-976-6352

<http://www.seseragi-mishima-rc.gr.jp>

せせらぎ三島ロータリークラブ 検索

例会場 ブケ東海三島

TEL.055-984-0120
毎週金曜日 第1・第3 夜間例会

会長挨拶

会長 中山和雄君



今晚は、今日の卓話はチャーターメンバーの中村パスト会長から財団100周年記念例会に参加した時の事を発表していただけるそうです。また改めてではございますがロータリーアンとはこのようなものでなくてはならない。と各自が感じる様なお話が聞けると思っています。よろしく願いいたします。

さて今日は篠木喜世さんの紹介をさせていただきます。篠木さんは1956年9月5日に福島県南相馬市加島町に生を享け、阿武隈山地のふもとの自然がいっぱいの中で幼児期を過ごし、まさにトトロのような世界で、犬・ニワトリ・チャボ・ウサギ・山羊などを飼って、田んぼや畑、雑木林、山林に囲まれ雑木林にはキツネ・タヌキや蛇なども沢山いたそうです。父親は公務員で児童相談所の所長などもしていたそうです。小学校は、全校8人と言う山の分校に入る予定でしたが、父親の転勤で福島市内の福島大学付属小学校に入学し、通学時には塀の上を歩いたりイチジクや桑の実、グミやザクロ、ビワ等を取って食べたりし、のびのび過ごしていたそうです。信号機を見たのも福島市内に引っ越して初めての事で感動したそうです。しかし小学6年生の時に父親が癌で他界し、母親の親族がいる東京世田谷に引っ越しをしたそうですが、当時は生活に困窮し6畳一間に母親と妹と三人で暮らし、お風呂は近くの親戚に借りる様な生活だったが沢山の本と沢山の友達に恵まれ、豊かではなかったが楽しく充実した日々だったそうです。しかし母親は娘達に安定した生活をと民間の保育園に勤めながら夜学に通って大卒の資格を取り、公務員試験を受けて、世田谷区の保育士となり、頑張り屋で努力家の母親は、その後も勉強を重ね退職後は大学で教え、82歳になった今日でも大学で講師をして若者に囲まれ元気になっているそうです。そんな母親に比べ篠木さんは三日坊主で一夜漬け専門、高校は都立駒場高校と言うセーラー服の可愛い高校に進み、大学はミッション系の東京女子大に進み、その後早稲田大学大学院に進み修士課程修了後は東京都世田谷区で9年半勤務し、三人目の子供が生まれたのを機に退職し、退職後は片手間に食育、子育て、健康関連の講師をしながら四人目の子供にも恵まれ主婦生活に満喫して居たそうですが、小児科医であるご主人が、両親が幼稚園を経営している三島で開業す

る事になり、14年間住んでいた武蔵小金井市を離れ20年ほど前から三島に住み、三島に来てから子供の手も少し離れたので健康・食育関連の会社を作り、ご主人も谷田にクリニックを移転してからは、良いスタッフに恵まれ、忙しいながらも本当にやりがいを感じる小児科医生活を送り、次女が早く小児科医になって戻ってきて一緒に診察するのを楽しみにしていたそうです。篠木さんもクリニックや学校法人を手伝い充実した日々を送っていましたが、皆様にもお世話になりましたが昨年の9月1日にご主人が致死性不整脈で帰らぬ人となり、しばらくは今後どうすれば良いか考えるすべもなかったそうですが、母親の背中を見ていたせいとか何とか立ち直り学校法人も理事長となり教育内容や職員体制も一層充実し、これからも学校法人経営を通して、ユニークな特色ある教育の場を提供し、未来に貢献する有為な人材を育てていきたいと思っていますとの事でした。クリニックの方は兵藤寿美医師(兵藤さんの奥さん)が診療所を借りて下さり、とても評判の良い女医さんで患者さん達からも慕われています。

せせらぎ三島ロータリークラブには2年前の1月に矢岸パスト会長と鈴木真知子さんのスポンサーで入会させて頂き、例会で皆さんとの会話に忙しい中でも何か余裕の心を持つ事が出来、人生には時々困難がありますが、何時も多くの人に助けられ今があると感じますとの事で、これからも皆さんと一緒にロータリー活動が出来ればとの事でした。

ようこそせせらぎ三島
ロータリークラブへ

中村方俊さん(中村君のゲスト)
あわやのぶこさん(篠木君のゲスト)

出 席 報 告

	出席総数	出席率	マークアップ	修正出席率
前々回	27/36	75.00%	32/36	88.89%
今回	27/36	75.00%	会員総数	39名

欠 席 者 あなたが見えなくて残念でした。

石井(和)君、内田君、大庭君、勝又君、加藤君、鈴木(政)君、土屋君、仲原君、中本君

(*出席免除会員の欠席者 片野君、澤田君、渡邊君)

卓話

中村徹君

ロータリー財団100周年記念シンポジウムに参加して

私は昨年11月27日クラブから1万円の登録料を払っていただき、「ロータリー財団100周年記念シンポジウム」に行かせていただきました。

6月2日の卓話は限られた時間でしたので、「開会式」のみ、ビデオを見ていただきました。「活動報告」「シンポジウム」は皆さんにメールでは送れませんでしたが、希望される方がいましたら、学友会から送られたDVDをコピーし、回覧したいと思います。中村まで申し出てください。

記念シンポジウムを知ったきっかけは「ロータリーの友」9月号でした。今年の1月号に「シンポジウム」について二神編集長が詳しく報告されています。皆さん是非読んでください。「ロータリーの友の購読」は「会費の納入」と「例会出席」と共にロータリアンの3大義務のひとつです。毎月の「友」からの情報は、縦ページを含め、「私の人生」を豊かにさせていただいています。会長さん、幹事さんに「友の記事」を見ていただき、出席したい旨、お願いしたところ、二つ返事で登録していただきました。登録料は自腹で払うのは当たり前なので、スマイルをしたつもりです。ありがとうございました。

話は変わりますが、今年度会長、幹事、会長エレクト様には、例会会場探しに、非常にリーダーシップを発揮され、会場を「呉竹」に決めるまで、また決めてから今日まで、大変ご苦労があったかと思います。ありがとうございました。

また、6月2日、例会が始まる1時間前なのに、声を掛け合いながら、親睦委員会の若い皆さんが忙しく会場の設営準備をされていました。

既にせせらぎ三島は活力ある、元気なクラブだと実感しました。



おめでとう

会員誕生日

6月4日

矢岸貞夫君

第12回理事役員会報告

平成29年6月2日 金曜日 呉竹

出席者 中山和雄・山口辰哉・鈴木政則・小林勝・服部光弥・
兵藤弘昭・宮澤正昭・米山晴敏

欠席者 石井和郎・内田憲一

司会者 米山晴敏

1.プログラム変更について
変更無し

2.例会会場準備と備品整理について

整理箱を用意する(山本パスト会長提供)

SAAがせせらぎ三島と分かる様名前を書いておく

3.新会員可否について

次年度幹事がロータリーとはを教える

4.さよなら例会について

さよなら例会及び送別会を含めて行う

総予算:279,720円(税込)

予算内訳 通常会費充当分 約70,000円

親睦会予算: 130,000円

予備費充当: 80,000円

承認



スマイルボックス

遠藤修弘君:マイロータリーの登録ぜひお願いします。ご希望があれば出向いて登録をします。

藤川智徳君:先日、御殿場にてノーベル賞受賞の天野浩さんの講演に出席しました。大変勉強になりました。

大村典央君:昨年11月からレッスンに通い、今年目標を108としていましたが、先日無事に目標達成しました。しかしその後は118といまいちです。ゴルフの難しさを知りました。

山本良一君:服部さんより強い要望があり本日のスマイルとします。暑くなりました。仕事も遊びもほどほどに。

山口雅弘君:皆様ご心配おかけして申し訳ありません。体調も80%位回復しております。皆様もお体にはお気をつけてお過ごし下さい。

仲原実圭君:本日欠席ですみません。6月18日日曜日のゴルフ同好会、今季最終戦へのご参加をお待ちしております。

中村 徹君:本日は卓話です。よろしくお願ひ致します。

石井司人君:明日は孫が新1年生になり運動会へ応援に行きます。じいじをやって来ます。

太田政人君:アユの季節となりました。昨日、仁科川の解禁に行つて来ました。釣れましたよ。

兵藤弘昭君:年度末なのでスマイルします。

Cテーブル:テーブル会残金スマイルします。